



株主のみなさまへ／長期構想 SIC27	1
業績ハイライト	3
事業別活動報告	5
グループトピックス	9
CSR	10
連結財務諸表の要旨	11
会社情報	12
株式情報	13

株主のみなさまへ

生活文化創造企業 東洋インキグループ

“For a Vibrant World”

100年レンジでの持続的成長が
可能な企業体質に変革し、
すべての生活者・生命・地球環境が
いきいきと共生する世界の実現に
貢献する企業グループを目指します



株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年3月26日開催の第182回定時株主総会および同日開催の当社取締役会を経て、この度、代表取締役社長に私、高島悟が新たに就任し、前任の北川克己は代表取締役会長に就任いたしました。

東洋インキグループは、2018年度より「変化のための挑戦を繰り返す3年間」と位置づけて中期経営計画“SIC-I”をスタートさせ、成長に向けた既存事業の変革や新事業への挑戦に取り組んでいます。変化が激しい外部環境に対して、イノベーションの連

鎖による力強い変革を推し進めるため、私はグループCOOとしてグループ全体の業務執行を担い、新会長の北川克己はグループCEOとして次なる成長戦略推進を支えてまいります。

第182期（2019年度）については、「市場や顧客ニーズの変化を捉えた新たな事業展開と価値提供」、 「モノづくり企業として、国内外各拠点のサプライチェーン、製品構成、製法・処方をもとから見直し、技術優位で市場を主導」、「変化を厭わず、挑戦を促す風土・人事制度の刷新と業務改革」の3つを年度

■ 長期構想

SIC27

Scientific Innovation Chain 2027

革新的な発想を科学的に実行し、それぞれの活動の連鎖によって、持続的に成長できる企業体質へと変革してまいります。

SIC-I
挑戦を
繰り返す
2018-2020

SIC-II
新しい成果を
積み重ねる
2021-2023

SIC-III
持続可能な
企業体質を
創り上げる
2024-2026

中期経営計画「SIC-I」基本方針

さらなる100年レンジでの持続的成長の礎を創り上げる期間と位置づけ、変革のための施策を立て続けに打つ

方針として掲げ、経営活動を行ってまいりました。しかし、米中や日韓の通商摩擦に伴い、スマートフォンを始めとする高機能製品の市場が低調に推移したうえ、一部の原材料価格の高止まりも続き、売上高は減収、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益もそれぞれ減益と、当社グループにとって非常に厳しい結果となりました。

第183期（2020年度）は、中期経営計画“SIC-I”の仕上げの年となります。次期中期計画“SIC-II”へ繋げるため、今までの挑戦や試行錯誤を踏まえて、

選択と集中の指向で事業の構造改革や企業体質の強化に取り組み、業績の改善に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

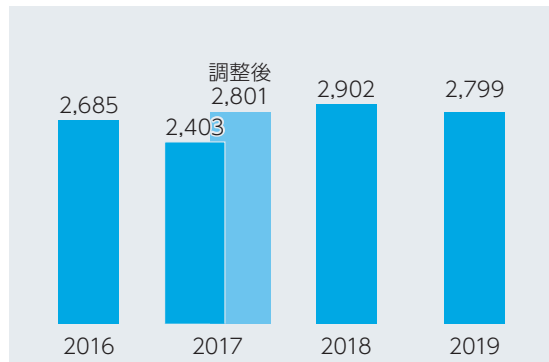
代表取締役社長 高島 悟

業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

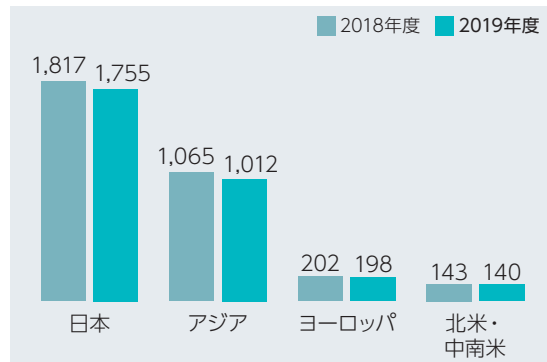
売上高推移

単位：億円



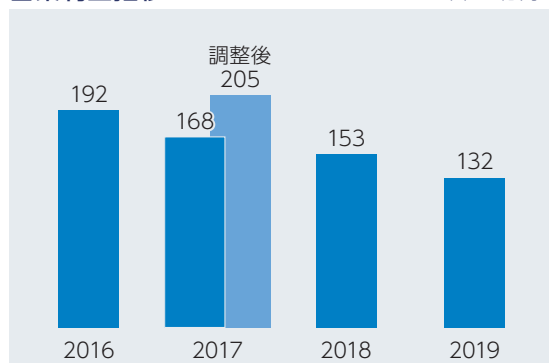
所在地別売上高

単位：億円



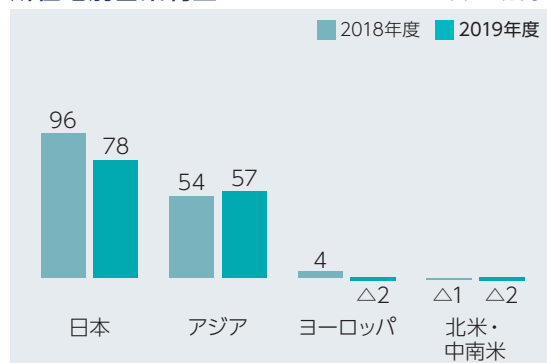
営業利益推移

単位：億円



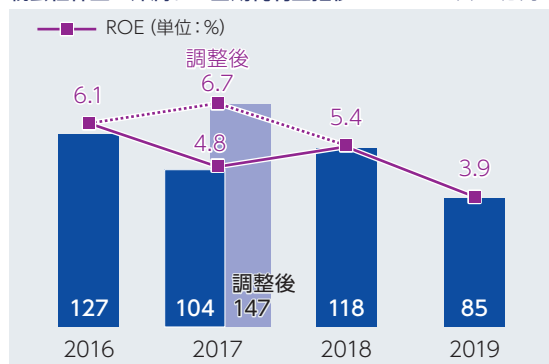
所在地別営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益推移・ROE

単位：億円



注1. 当社は2017年度より、それまで毎年4月1日から翌年3月31日としていた決算期を、毎年1月1日から12月31日までに変更しています。その為、2017年度は決算期変更の影響により、対象期間が国内は4～12月の9か月間、海外は1～12月の12か月間となっています。

※2017年度の「調整後」は、国内・海外ともに1～12月に調整した実績値です。

注2. 本報告書の過年度数値におきましては、当社の連結子会社において、不適切な会計処理が行われた事実が判明したため、過年度決算訂正を反映させております。

▶▶▶ 市場や顧客ニーズの変化を捉えた新たな事業展開と価値提供

市場や環境の変化をチャンスと捉え、新製品、新事業の展開を強化し、新しい価値の提供に数多く挑戦しました。

色材・機能材関連事業では、液晶ディスプレイカラーフィルター用材料事業において、高品位技術と価格競争力を両立させ、最大市場である中国への販売を伸長させました。また機能材事業でも、リチウムイオン電池用材料の機能性分散体や、インクジェットインキ用の顔料分散体などの実績を拡大させました。ポリマー・塗加工関連事業では、ディスプレイ用の粘着剤やリチウムイオン電池用の接着剤、高速通信である5G用の塗工材料の販売が伸長しましたうえ、環境調和型の圧縮塗料やバイオマス粘着剤の開発や拡販を推進しました。また、今後のソリューション提供事業として、センサーシステムの事業化を見据えた各種実証実験を行いました。パッケージ関連事業では、国内や海外各国において、バイオマスインキや水性などの環境調和型インキの性能向上や拡販を図りました。また、プラスチック製容器包装の革新的リサイクルシステムの確立のため、印刷用インキの脱墨ならびにラミネート接着剤の剥離を実現する技術や製品開発を進めました。印刷・情報関連事業では、印刷適性を向上させたオフ輪インキや、ラベル用のUVバイオマスインキなどの新製品を発売しましたほか、デジタル化に対応したインクジェット用インキの性能向上やグローバルな拡販を進めました。

▶▶▶ モノづくり企業として、国内外各拠点のサプライチェーン、製品構成、製法・処方を見直し、技術優位で市場を主導

伸長が期待できる接着剤や粘着剤、分散体などの国内の製造設備や、インクジェット用インキの欧州や中国の製造設備を増強しましたほか、新しく進出したミャンマーの工場が完成し、事業活動を開始しました。また、モロッコに販売会社を設立し、アフリカ大陸の経済成長を見据えたマーケティング活動も強化しました。一方、デジタル化に伴い市場が縮小している国内のオフセットインキ、新聞インキ事業については、需要減に耐えうる事業体制の効率化や、同業他社とのアライアンスに着手しました。さらには、原料価格の高止まりに対応するため、代替原料を使用した処方への改良を進めるとともに、製法革新の研究も推進しました。

▶▶▶ 変化を厭わず、挑戦を促す風土・人事制度の刷新と業務改革

センサーやデータサイエンスを活用した効率的な生産体制の構築や、RPA（ロボティックプロセスオートメーション）を活用した業務の生産性向上への取り組みを行いました。また、評価制度や働き方の見直しに伴う人事制度の改訂を行い、挑戦を促す風土への基盤整備を行いました。

色材・機能材関連事業

色材のリーディングカンパニーである当社グループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つ。ナノレベルの分散技術は、液晶ディスプレイ用材料やレジストインキ、カーボンナノチューブなどにも展開されています。

中核事業会社：トヨーカラー株式会社

◇主な製品 有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料など



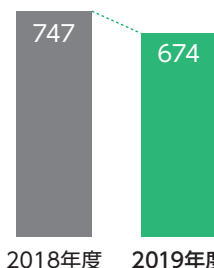
■ 当期の概況

高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、スマートフォンやテレビ需要の低調が続き、特に高品位品を扱う国内や韓国の顧客での稼働が悪化し、売上が伸び悩みとともに、中国や台湾での部材へのコストダウン要請が一層厳しくなり、利益も圧迫されました。

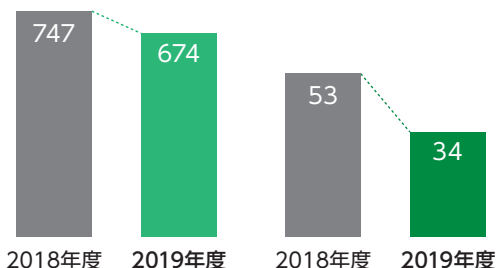
汎用顔料は、印刷インキ用の低調が続きました。うえ、自動車販売の低調に伴い塗料用も伸び悩みました。また、環境規制に伴う供給不足による原材料価格の高騰が続き、販売価格への一部転嫁を進めましたものの、利益の減少を補うまでには至りませんでした。

プラスチック用着色剤は、国内では容器用の伸長が続きましたが、自動車や建材、太陽電池向けなどの高機能製品は伸び悩みました。また東南アジアでの事務機器向けも、低調に推移しました。

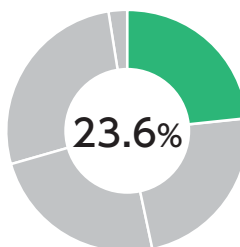
売上高推移
(単位：億円)



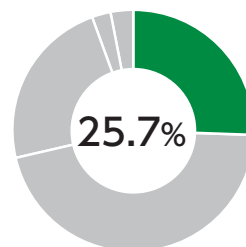
営業利益推移
(単位：億円)



2019年度
売上高構成比



2019年度
営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

ポリマー・塗加工関連事業

樹脂（ポリマー）を素に、合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクスの分野、太陽電池などのエネルギー分野、メディカル・ヘルスケア分野などで多くの機能性製品が採用されています。

中核事業会社：トーヨーケム株式会社

◇主な製品 缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品など



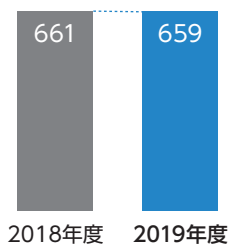
■ 当期の概況

塗工材料は、高速通信対応の電磁波シールドフィルムなどの開発や拡販が進みましたものの、中国や韓国でのスマートフォン市場の低調や価格競争の激化により、全般的には売上、営業利益とも伸び悩みました。

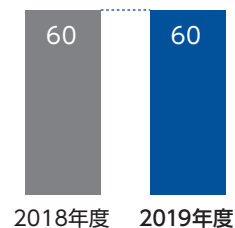
接着剤は、国内では包装用が堅調に推移しました。リチウムイオン電池用が自動車向けを中心に伸ばしました。また海外では、中国や東南アジア、トルコなどでの拡販が進みました。粘着剤は、ラベル用の需要が堅調に推移し、液晶ディスプレイの偏光板向けの拡販も進みました。

缶用塗料（フィニッシュ）は、環境対応製品の展開が進みましたものの、国内では夏から秋にかけての天候不順もあり低調が続きました。

売上高推移
(単位：億円)

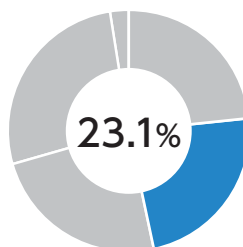


営業利益推移
(単位：億円)

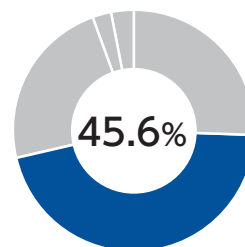


2019年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

パッケージ関連事業

パッケージの製造工程に多様な高性能製品を提供。安心・安全が求められる食品包装の分野では、インキや接着剤の水溶性化、無溶剤化などを進め、また、サステナブルな社会を目指し、バイオマス製品の開発も行っています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 グラビアインキ、フレキシオンキ、
グラビアシリンダー製版など



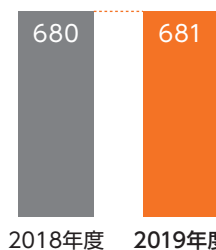
■ 当期の概況

国内のグラビアインキは、出版用の需要減少が続きましたうえ、建装材用も前期並みに終わりましたが、食品や飲料などの包装用がプライベートブランドやコンビニエンスストア向けを中心に堅調に推移、中でもバイオマスインキが大きく伸長しました。海外は、中国では伸び悩みましたものの、東南アジアやインドなどでの環境対応製品の拡販が進みました。

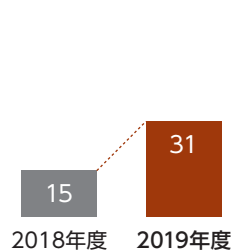
また国内外とも、前期からの原材料価格の急騰を受け、コストダウンを徹底するとともに、販売価格への一部転嫁も進めさせていただきました。

グラビアのシリンダー製版事業は、包装用が伸び悩みましたものの、エレクトロニクス関連の精密製版の拡販が進みました。

売上高推移
(単位：億円)

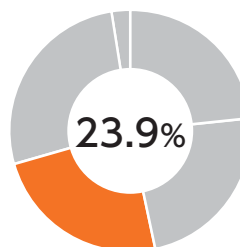


営業利益推移
(単位：億円)

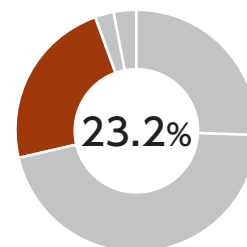


2019年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

印刷・情報関連事業

当社グループの原点であり、重要な基盤事業の一つ。顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型や高機能など多様な製品を開発。印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料など

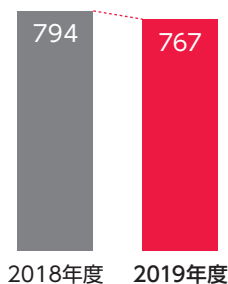


■ 当期の概況

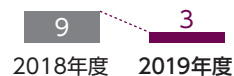
デジタル化に伴う情報系印刷市場の縮小傾向のなか、国内では製品別にビジネス規模の最適化や同業他社との協業、コストダウンを強力に進める一方、海外ではグローバルな拠点拡充による売上拡大を図り、インドや南米などでの拡販が進みました。さらには、モロッコに販売会社を設立し、成長するアフリカ市場での拡販も図っています。また、最先端技術を活用した高感度UVインキや、オンデマンド印刷向けインクジェット用インキなどの開発や拡販も進みました。

しかし、国内におけるチラシなどの商業印刷や新聞、雑誌などの既存のオフセットインキの需要は、印刷用紙不足もあり、予想以上に減少しました。また、環境規制に伴う供給不足などによる原材料価格の高騰が続き、利益も圧迫されましたなか、販売価格の改定を進めさせていただいております。

売上高推移
(単位：億円)

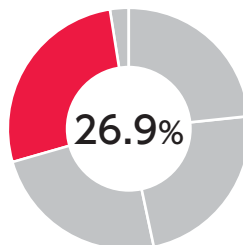


営業利益推移
(単位：億円)

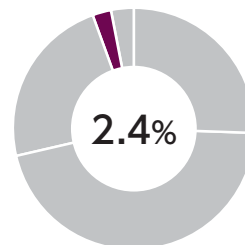


2019年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

自律走行バスでの実証試験に参画



東洋インキグループの中核事業会社の一つであるトーヨーケム株式会社は私道での自律走行バスの実証試験に参画し、センシングシステム「Fichvita®（フィッチヴィータ）」を用いた、バスの着席状況の把握、バス停の待ち人数のカウントなどの検証を行いました。

センシングシステム「Fichvita®」について

「Fichvita®」は、東洋インキグループが長年培ってきたコア素材のポリマーと、研究開発により新たに構築した回路設計技術やソフトウェア設計技術を組み合わせることによって誕生した、非光学式行動検知システムです。

床に設置したセンサーパネルの上を歩くことで、歩幅、歩行速度・方向、通行人数、転倒状態などが検出でき、カメラと違い、プライバシーに配慮して匿名性を保ったまま人の行動を検知することが可能です。

さらに、光学式の欠点である死角が発生しやすい場所や暗い場所、視野がさえぎられる場所においても、Fichvita®を併用することで、データロスの問題を解決することができます。

詳細については、ブランドサイトをご覧ください <https://fichvita.com> (和文)

5G時代のモビリティ分野に貢献する先端技術

神奈川県が行う「最先端ロボットプロジェクト」の一環として、相模湖リゾート株式会社と富士急行株式会社は、さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト内でSBドライブ株式会社が提供する自律走行バスの走行実験を行いました。

トーヨーケムは、この自律走行バスにセンシングシステム「Fichvita®」を座席センサー及びフロアセンサーとして設置し、搭乗時の乗客の確実な着席を遠隔地にいる運行管理者へタイムリーに配信するとともに、走行中の着席状況を把握する事で、自律走行バスの安全運行を支援します。さらに、園内に設置される2か所の簡易バス停では、それぞれの乗車待ち人数のカウントを実施しました。

トーヨーケムは、今回の実証試験を通じて独自のセンサー技術、データテクノロジーを強化し、来るべき5G時代のモビリティ分野へ、安全・安心をキーワードにした独自のソリューションを提案し、将来の事業化を目指してまいります。

社員を大切にし、幸せや働きがいを追求する

社員食堂ではカロリー表示、ヘルシーメニューやスマートミール認証制度に合わせた食事の提供をしています



東洋インキグループ
オリジナルキャラクター「リオちゃん」



東洋インキグループは、2018年に引き続き、経済産業省が推進し日本健康会議が運営する第3回「健康経営優良法人2019」大規模法人部門（ホワイト500）に認定されました。この制度は、大規模法人のうち、保険者と連繋して優良な健康経営を実践している法人について、「健康経営優良法人（ホワイト500）」として認定するものです。



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

健康経営

東洋インキグループは、経営哲学「人間尊重の経営」に基づき、社員一人一人は会社の財産であり、その人的資源が最大限に活躍できる環境を整備していくことが重要だと考えています。そのために、健康増進、疾病予防、メンタルヘルスケアなど、社員の健康のための取り組みを通じて「社員が健康に働くための職場環境整備」を推進しています。

現状の健康経営施策の取り組み状況

支援領域

(1) 健康に働けるための環境整備支援

- ウォーキングイベントの開催（毎年9～11月 3カ月間）
- 事業所内でのインフルエンザ予防接種
- 健康診断での任意項目の追加（がん検診、婦人科検診、腹部超音波検診）
- 被扶養者検診の受診促進
- 社員食堂でのヘルシーメニューの提供・カロリー表示、スマートミール認証制度に合わせた食事の提供
- 診療所による保健指導・栄養指導
- 各種運動部への活動費支援
- 新入社員向け健康研修の実施
- 労働時間管理の徹底

(2) 個人の健康づくり支援（費用補助）

- フィットネス・スイミング
- 予防接種、メディカルチェック
- 保険適用外医療費
- 健康計測器購入、入院差額ベッド
- 禁煙費用
- ヘルシー食品購入

(3) メンタル不全予防の支援

- 社内相談員制度
- 定期的なストレスチェック
- メンタル・ハラスメントに関する研修（管理者・一般社員）の実施
- 職場コミュニケーション支援制度

施策

連結財務諸表の要旨

※「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)等を2019年度から適用しており、2018年度については当該会計基準等を選り適用した後の数値となっております。

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科目	2018年12月31日現在	2019年12月31日現在
流動資産	2,031	2,000
固定資産	1,685	1,762
資産合計	3,716	3,761
流動負債	1,008	1,067
固定負債	497	425
負債合計	1,505	1,492
資本金	317	317
資本剰余金	325	325
利益剰余金	1,434	1,466
自己株式	△50	△50
その他の包括利益累計額	116	135
新株予約権	2	3
非支配株主持分	67	72
純資産合計	2,211	2,269
負債純資産合計	3,716	3,761

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

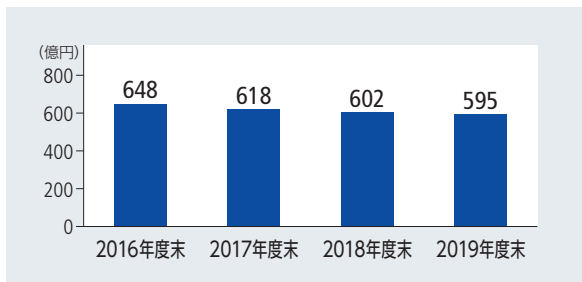
	2018年度	2019年度
売上高	2,902	2,799
売上原価	2,279	2,196
販売費・一般管理費	470	472
営業利益	153	132
営業外収益	22	20
営業外費用	21	13
経常利益	154	138
特別利益	14	21
特別損失	9	36
税金等調整前当期純利益	159	123
法人税・住民税及び事業税	32	33
法人税等調整額	4	1
非支配株主に帰属する当期純利益	5	4
親会社株主に帰属する当期純利益	118	85

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

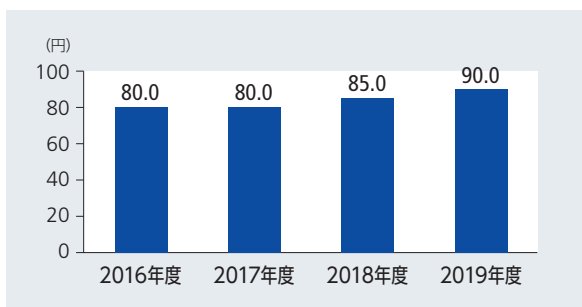
(単位：億円)

科目	2018年度	2019年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	192	197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108	△104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57	△62
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△2
現金及び現金同等物の増減額	17	28
現金及び現金同等物の期首残高	493	510
現金及び現金同等物の期末残高	510	538

◎有利子負債の状況



◎1株当たり配当金



● 期末配当金：1株につき45円(中間配当金45円と合わせ年90円)

● 期末配当の効力発生日(支払開始日)：2020年3月27日

※ 1株当たり配当金は、2018年7月1日をもって実施しました株式併合の併合割合を勘案して、記載しております。

会社情報

会社概要 (2019年12月31日現在)

創業	1896 (明治29) 年1月
設立	1907 (明治40) 年1月15日
資本金	31,733,496,860円
発行済株式総数	60,621,744株
社員数	(連結) 8,246名 (単独) 410名

役員 (取締役・監査役) (2020年3月26日現在)

代表取締役会長	北川 克己
代表取締役社長	高島 悟
専務取締役	青山 裕也
常務取締役	濱田 弘之
常務取締役	中野 和人
取締役	甘利 公人
取締役	木村 恵子
取締役	酒井 邦造
取締役	金子 眞吾
取締役	平川 利昭
取締役	井出 和彦
常勤監査役	石川 隆
常勤監査役	垣谷 英孝
常勤監査役	野邊 俊彦
監査役	池上 重輔
監査役	小野寺千世

グループ主要営業品目 (2019年12月31日現在)

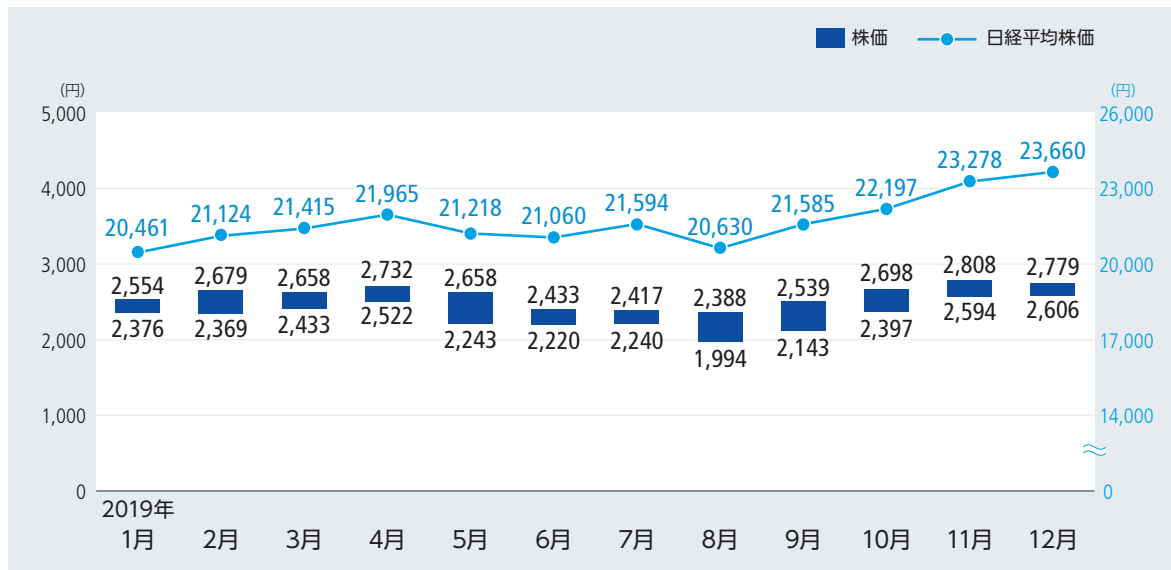
有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、
カラーフィルター用材料、缶用塗料、樹脂、
接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、
メディカル製品、グラビアインキ、フレキシソインキ、
グラビアシリンダー製版、オフセットインキ、
金属インキ、印刷機械、印刷機器、
プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料

事業拠点 (2019年12月31日現在) ※太字 製造拠点含む

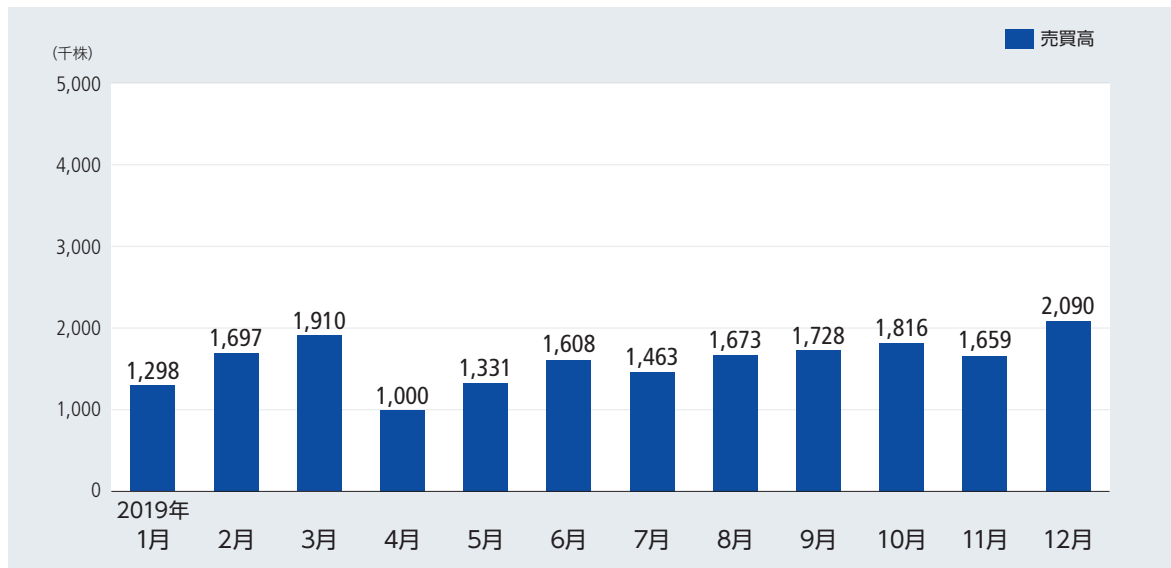
国内拠点所在地	札幌 千歳 仙台 東京(京橋、十条) 千葉 茂原 川口 埼玉 川越 東松山 富山 金沢 長野 新潟 名古屋 静岡 富士 春日井 守山 大阪 寝屋川 京都 西神 尼崎 岡山 広島 高松 福岡 北九州 熊本
海外拠点所在地	アメリカ合衆国 カナダ ブラジル メキシコ フランス ベルギー イギリス ドイツ リトアニア トルコ 中華人民共和国 台湾 大韓民国 シンガポール タイ マレーシア ミャンマー フィリピン インドネシア ベトナム インド アラブ首長国連邦 モロッコ

株式情報

◎株価の推移 (東京証券取引所)



◎売買高の推移 (東京証券取引所)



◆大株主

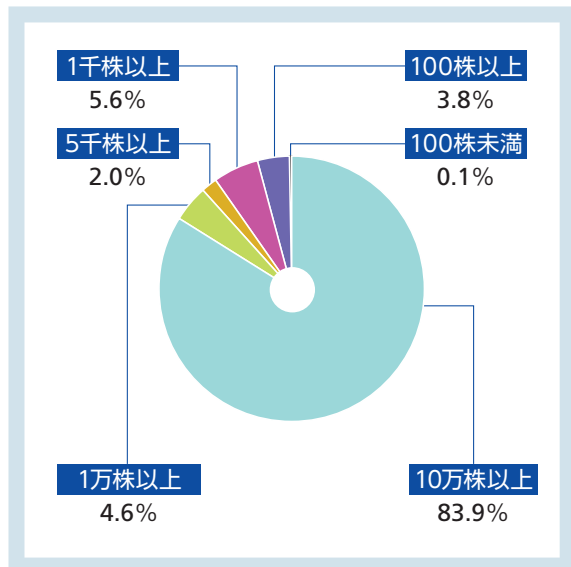
2019年12月31日現在

順位	会社名	持株数(千株)	議決権比率
1	凸版印刷株式会社	13,646	23.42%
2	サカティンクス株式会社	2,335	4.01%
3	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,021	3.47%
4	株式会社日本触媒	1,661	2.85%
5	全国共済農業協同組合連合会	1,541	2.64%
6	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,507	2.59%
7	東洋インキグループ社員持株会	1,368	2.35%
8	株式会社三菱UFJ銀行	1,073	1.84%
9	株式会社みずほ銀行	1,073	1.84%
10	SMBC日興証券株式会社	936	1.61%

※自己株式2,218,965株を除く。

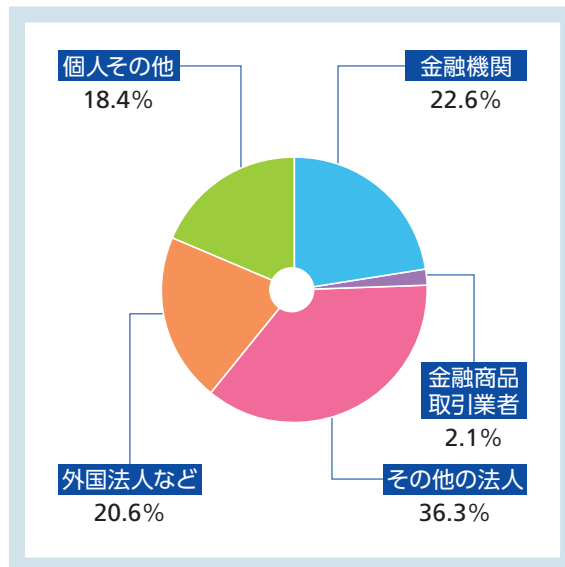
◆所有数別株式数比率

2019年12月31日現在



◆所有者別株式数比率

2019年12月31日現在



株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 ●定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
●中間配当：毎年6月30日

株主名簿管理人

および

特別口座の

口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

東洋インキ SC ホールディングス 株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03 (3272) 5731

インターネットによるお問い合わせ先 <https://schd.toyoinkgroup.com>

E-mail info@toyoinkgroup.com



この報告書は、米ぬか油や再生植物油を使用したライスインキで印刷しています。